

## 大学院入試で実施する「専門領域における記述試験」について

本学では大学院入試において「専門領域における記述試験」を課しておりますが、実施形式や内容等について質問を受けることがありますので、以下に説明させていただきます。

### 「専門領域における記述試験」の目的

大学院の入学志願者に対しては、面接を実施して、入学後の意欲や身に着けたい能力・研究に対する心構えなどを確認しますが、「専門領域における記述試験」では「知っている事項・内容を的確な言葉でわかりやすく表現する力（説明力）」を問うことを目的としています。

### 「専門領域における記述試験」の形式

過去の出題を参考に説明すると「提示されたキーワード（複合語も含む）の中から指定された個数分を選択し、そのキーワードの説明を記述する」という形式でした。

キーワードは多い時で 50 ワード、少ない時でも 30 ワード程度出題しており（受験生が多いと関連する分野も多くなるため、出題するキーワードが増える傾向があります）、その中から 4 ワードを選択して、その説明を記述せよというものでした（回答するキーワードの数も変更になる可能性があります）。

### 「専門領域における記述試験」の過去問

申し訳ありませんが、過去問は公開しておりません。

前述のような出題形式であるため、様々な分野からキーワードを出題するようになっていますが、分野によっては、似たようなキーワードが出題されることもあるため、過去問は非公開としております。